

Press Information

2021年5月12日

エアバス社より“Propulsion of Tomorrow”共同開発パートナーに再度選出 Rolls-Royce社向け“UltraFan®”実証プロジェクト案件追加

日機装株式会社（社長：甲斐敏彦、本社：東京都渋谷区、以下、「当社」）は、エアバス社が進めている“Propulsion of Tomorrow”プロジェクトにおいて“Cradle”の共同開発パートナーに選出されました。同プロジェクトにおいて既に“Inlet Outer Ring”の開発製造を担当していますが、この度さらに新たな部位も担当することになりました。“Propulsion of Tomorrow”プロジェクトはロールス・ロイス社の「UltraFan®」実証機用のナセルを開発製造するプロジェクトで、“Cradle”は翼にエンジンを懸架する“パイロン”のカバーに相当する部品です。エアバス社と日機装は2020年に共同開発契約を結び、Intake（吸気口）に、低燃費と低騒音を実現する複合材部品の“Inlet Outer Ring”を開発し納入しています。

■UltraFan®プロジェクトの概要

「UltraFan®」は、ナローボディ機とワイドボディ機（単通路機と双通路機）の両方に搭載可能なエンジンファミリーで、ロールス・ロイス社の次世代実証機です。大型の「UltraFan®」は、ファンブレードとファンケースの製造に複合材を使用することで大幅な軽量化を図っており、26年前に就航した初代「Trent」エンジンと比較して25%の効率化を実現します。エアバス社は「UltraFan®」プロジェクトにおいて、革新的な構造と関連技術を備えたナセルのロールス・ロイス社への供給を担当しますが、当社はエアバス社からナセルを構成する部品である“Inlet Outer Ring”につづき“Cradle”の共同開発パートナーに選出されました。

■本プロジェクトにおける新技術

前回“Inlet Outer Ring”で採用された帝人株式会社との共同開発による新しい速硬化樹脂材料を、今回の“Cradle”でも採用しています。今回は、この速硬化樹脂材料を従来の手作業による積層ではなく、AFP積層(=Automated Fiber Placement)での自動積層に対応するようにさらなる開発を進めました。

今回製造された“Cradle”のプロトタイプは、試験品の1つとして、2021年末までにエアバス社に納入される予定です。

■エアバス社と当社の関係について

当社は1984年にCFRPカスケードの開発に成功し、エアバス社のA300に搭載されたエンジンナセルの顧客への直接納入を開始しました。その後、当社のカスケードは他のプログラムで開発・搭載された新型機にも次々と採用され、現在ではエアバス社のすべての民間機に採用されています。当社はカスケードの他にも、A320、A330、A350の主翼、ナセル、エンジンの部品を製造しており、30年以上にわたる実績を築いております。

■当社の航空業界への貢献

当社は1983年に世界で初めてCFRP製カスケードの開発に成功し、現在では大型機から小型のリージョナル機まで90%以上の世界シェアを獲得しております。

新型コロナウイルスの影響で世界的に航空市場が低迷する中、当社はキーサプライヤーとして航空業界に貢献し続けるとともに、市場の回復、新技術や新市場の開拓にも備えていきます。

<日機装 会社概要>

会社名： 日機装株式会社

本社所在地： 〒150-6022 東京都渋谷区恵比寿4丁目20番3号
恵比寿ガーデンプレイスタワー22階

創業： 1953年12月26日

代表者： 代表取締役社長 甲斐 敏彦

事業内容： 日機装は1953年の創業以来、産業用特殊ポンプやそのシステム製品、CFRP製航空機部品、そして血液透析やヘルスケア製品の医療部門機器など、日機装がパイオニアとして市場を創出し、その先頭を走り続けてまいりました。独創的な発想と高度な技術から生まれた日機装の製品は、「万が一」が許されない過酷で社会的価値の高い環境下で威力を発揮しており、お客様から高い評価をいただいています。「日機装だからこそ、やってくれる」「日機装にしか、できない」というお客様からの期待に、そして社会からの要請に応え続けるべく、私たち日機装は、これからも技術の力を磨き、ものづくりの力を高めてまいります。

HP <https://www.nikkiso.co.jp/>

本件に関するお問い合わせ先

日機装株式会社 企画本部 経営企画部

TEL : 03-3443-3717 E-mail : nikkiso-pr@nikkiso.co.jp